

科目名	生活と政治Ⅱ	科目分類	□専門科目群（第1グループ） ■総合科目群（第2グループ）	
			学科	□必修 □選択
英文表記	Politics II	開講年次	□1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	なかむら いつはる	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	中村 逸春	修得単位	2単位	
授業のテーマ	政治学の様々な概念について歴史を通して学びます。			
授業概要	この講義の目的は、過去の政治思想家のテキストを参照することを通じて、政治学の諸概念（民主政、共和政、権力など）についての理解を深めることです。また、本講義では、思想家が生きた時代の社会的・政治的生活にも注目します。			
到達目標	政治学の様々な概念について、代表的な政治思想家のテキストと関連づけて理解できるようになることです。			
授業時間外の学習	毎回小テストを行いますので、次回の講義までにノート、レジュメ、資料を読み返し、復習しておいてください。			
履修条件	高校で世界史または倫理の授業を受けていれば理解しやすいと思いますが、必須の条件ではありません。なお、講義中の私語は禁じます。			
授業計画				
第1回	イントロダクション			
第2回	民主政①：古代ギリシャの政治と歴史			
第3回	民主政②：プラトンの哲学と民主政批判			
第4回	民主政③：アリストテレスの国政類型論			
第5回	共和政：古代ローマの政治とストア派			
第6回	国家と教会①：カトリック教会と叙任権闘争			
第7回	国家と教会②：中世盛期のスコラ哲学とトマス・アクィナス			
第8回	講義の復習と質疑応答			
第9回	政治と権力：ルネサンスとマキアヴェッリ			
第10回	国家と教会③：ルターの二王国論			
第11回	国家と教会④：カルヴァンの神権政治			
第12回	抵抗権、寛容、主権：宗教内乱とボダン			
第13回	結社と共同体：英米のピューリタニズム			
第14回	近代の民主政			
第15回	講義の総括			
第16回	定期試験			
テキスト	教科書は、特に指定しません。			
参考文献・資料	宇野『西洋政治思想史』（有斐閣、2013年）、川出・谷口『政治学』（東京大学出版会、2012年）。その他の参考文献については、その都度紹介します。			
成績評価の方法	小テスト（30点）とレポート（20点）と論述試験（50点）とによって、授業内容の理解度をみて評価します。			
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）			

	【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	① 毎週火曜 14:40~16:10 ②毎週水曜 14:40~16:10
学生への メッセージ	歴史を学ぶことで、政治についてより深く理解することが可能となります。